

母校はあなたのホームグラウンドであり、校友会・歯学会はあなたのアイデンティティです

生命歯学部・新潟生命歯学部 校友会・歯学会入会歓迎式・歓迎会 開催さる

TOKYO



NIIGATA

3月9日(水)に校友会・歯学会入会歓迎式と第105回卒業を祝う会が飯田橋ホテルメトロポリタンエドモントにて執り行われました。

思えば6年間様々なことがありました。先生方や同級生たちと数え切れないほどの楽しい思い出があり、また同じ数ほどの辛いこともありました。早く卒業したいと思ったことも多々あります。しかし6年間というのは本当に一瞬で、いかに素敵な時間であったかということがわかります。これからも日本歯科大学第105回卒業生という誇りと愛校心を忘れずに、歯科医師として社会に貢献できればと思っています。ありがとうございました。



生命歯学部105回卒 山崎新太郎

平成28年3月11日(金)、私も第105回生のために盛大な校友会入会歓迎会を開いていただきました。校友会の役員の皆様から心温まるお言葉を頂戴し、感激するとともに、身の引き締まる思いでした。つらかった数々の試験を乗り越え、晴れて伝統ある校友会の一員となれましたことを、卒業生一同、大変嬉しく思っております。

この6年間「歯科医師になる」という夢に向かい必死だった学生生活では、学内校友会員である先生方にたくさんの手助けをいただきました。卒業後も、校友会を通じて先生方とお付き合いできると、非常に心強いです。今後、校友会員の先生方が築いてこられた伝統を大切に、日本歯科大学校友会会員として1日でも早く社会に貢献できるよう日々研鑽を重ねて参ります。



新潟生命歯学部105回卒 大澤孝輔

校友会からのご挨拶

誰もが輝く歯科界を目指して

校友会副会長 参議院議員
西村まさみ (78回)



新 入生、在校生の皆様、入学 進級おめでとうございます。
平成26年の調査の結果、歯科医師数は現在10万3,972人、内女性2万3,428人22.5%です。年齢階級別で29歳以下では女性は43.6%と年々増加の傾向にあります。日本歯科大学の学生の皆さんも女性が半数近くになっています。

校友会女性の会委員会では毎年「女性歯科医師の集い」を開催して女性の校友の先生方との交流を積極的に行っています。学術分野だけではなく、アンチエイジング、食べ物、白衣のファッションショーや校友の先輩で様々な分野で活躍されている先生方の声を聴くことを企画したりしています。開業の苦労、子育てや介護との両立、これからの歯科医療についてなどテーマは様々です。

世界では女性の社会参画はもう当たり前の時代でも、日本では周囲の環境が必ずしも整っていないことがまだ多く見受けられます。日本の古い性別役割分業、例えば男は外で働き、女は家で家事や子育てをすることが当たり前の時代から男女共に生きがいを持って共に働き、家事、子育て等は二人で協力をする社会の実現が言われ始めて半世紀…。

今月より「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が施行されました。この法律の施行で女性の活躍が社会的に担保され、職場での理解が深まり、子育てや介護などでキャリアアップを断念してきた有能な人々の出番が増えることが何より重要であります。これからは男性、女性、若者、高齢者の区別なく、誰もが安心して望み環境の中で働くことができる社会の実現に一番必要なのは一人ひとりの意識の改革です。まずは今を生きる私たち大人が率先して行い、こらからの日本の歯科医療界を担う皆さんにバトンタッチをして将来へと繋げていくように、私は政治の世界で最大限の努力をしていきます。どうぞ学生の皆さん、将来歯科医師となって診療はもちろん家事も育児も介護もみんなで協力して行う意識をもってこの1年、勉学にスポーツに趣味にと励んでください。

校友会は皆さんの応援団です！

校友会入会説明会開催報告

平成28年2月2日に校友会の先生、歯学会の先生より校友会・歯学会への入会のご案内がありました。

校友会の会員数の多さには改めて驚きをうけました。そのためこれから自分が歯科医師として生きていく上で絶対にお力になっていただけると感じました。

歯学会は世界でも認められている「Odontology」という学術誌を発行なさっていて改めて日本歯科大学はすごいなと感じられました。

自分も校友会・歯学会に入会したいなと強く思える時間でした。

生命歯学部105回卒 藤川 駿



新潟生命歯学部では卒業前に、校友会への入会オリエンテーションが開催されました。このオリエンテーションを受け、卒業後も先輩方との関係が途絶えることなく、むしろ学生生活からは想像もできない程多くの先輩方と関係を築くことができるコミュニティであることを知り、ぜひ卒業後には校友会の一員に加わりたいと思いました。

新潟生命歯学部105回卒 城井友幸



KOYU Quiz

Q. 歯科医学の象徴色（デンタルカラー）とは何色でしょうか？



「校友会主催 学術フォーラム 2016 開催の報告」

平成28年2月14日(日)、春一番の強い風が吹く中、日本歯科大学生命歯学部本館3F・7F・100周年記念館9段ホールにおいて、本年度の学術フォーラムが開催されました。

120分の演題が8題(講演4題・テーブルクリニック4題)好評のランチョンセミナー(60分)2題が行われました。

毎年この時期に開催されていますが、来年は在校生、研修医の皆さんも参加しやすい時期と、ベーシックなものから発展著しい最先端分野まで幅広く学んでいただける内容の講演を予定しています。



校友君 インフォメーション

在学生のみなさんも校友会メールマガジンに登録できます！

校友会本部ではメールマガジンを年間約36回発行しています。登録をすると発行日の月曜日にあなたのパソコンやスマホに送信されます。日本歯科大学のいろいろな情報が満載です。登録は記載されている校友会ホームページのURLかQRコードから登録のページへ！

KOYU Quizの答え：「ライラック(鳩羽紫)」：1894年ハーバード大学で、各大学の総長と評議員とからなる大学連絡委員会が開かれた際、いろいろな職業を象徴する色について協議されました。医学がGreen、神学がScarlet(深紅色)、法学がRoyal purple、薬学が

Olive、哲学がBlueに決まりました。

歯科医学の象徴色としてはLilac(ライラックの花の色)が選ばれ、これは1896年に開かれたアメリカ歯科教授協議会の年次総会で正式に決定しました。日本ではこの色を鳩羽紫とも呼んでいます。

冬季歯学大会結団式開催報告

今回は試験日程など学業の面で
の大きな変更が合ったため、
冬季歯学大会決断式と代えさせて式
を行わせていただきました。

時間も忙しい中、学生・先生方の
皆さんが集まって下さったおかげで、
式の方も順調に進み2015年の体育
会の最後の仕事を問題なく終わらせ
ることができ、とても安心しており

ます。

来年再来年とこの決断式が、これ
からも続くことを御祈りして締めさ
せていただきます。

皆様ありがとうございました。

生命歯学部4年
中村元一



冬季球技大会開催報告

平成27年11月7日(土)、今年は
体育館が工事中のため例年と
は異なり神楽坂フットサルコートに
て、冬季球技大会が開催されまし
た。午前は大縄、午後はドッジボ
ールを行いました。各部活、日頃の部
活動で培った体力や団結力を思う
存分に発揮し、白熱した戦いをみせ
ていました。また、部活、学年を超
えた交流を深める場となり、充実し
た球技大会となりました。大縄優
勝はバスケットボール部、2位ゴル
フ部、3位野球部。ドッジボール優
勝は野球部、2位体育会、3位バ

レーボール部という結果に終わりま
した。

私は冬季球技大会実行委員長を
務めさせていただきましたが、至ら
ぬ点が多々あり準備の段階から多く
の方々にご協力いただきました。こ
うして無事に終えられたことはご協
力くださった皆さまのおかげであ
ると思っています。
ありがとうございました。

生命歯学部4年
清水渚左



こうゆう先輩 第6回

自分の将来像を 思い描くことの大切さ

新潟生命歯学部
先端研究センター
顎顔面骨臨床応用学

中原 賢 (95回)



今回、「こうゆう先輩」寄稿のお話
をいただき、なにを書こうか、なに
を伝えようか考えました。そこで、私
の歯科医師人生に今でも大きな影響を与
えている、私が選んだ2つの進路につい
てお話ししたいと思います。皆さんが将来
のことを考える際に、選択肢の幅を広げ
るきっかけになればと願っています。

私は、新潟歯学部(現・新潟生命歯学
部)を卒業後、東京歯科大学の大学院へ
進学しました。他大学の大学院を選択し
た理由は、“外の世界が見たい、知りた
い”という思いがあったからです。皆さ

んもご存知のとおり、近年、東京歯科大学
は歯科医師国家試験の合格率が高く、教育
力の高さにかけては群を抜いています。こ
の教育力の高さを表しているのは、大学院
生の数の多さであると私は思っています。
東京歯科大学の学生の1/3弱は、卒業後
に大学院へ進学します。つまり、一学年
30~40人くらいが大学院生になるという
ことです。私が入学した年も新入生が多く、
とても活気がありました。学生が講義や実
習で大学に魅力を感じ、また教員も大学に
残ることの大切さを伝えているのでしょう。
私自身、同年代の仲間たちから受けた影響
は大きく、共に協力し合い切磋琢磨できた
ことは良い思い出です。他大学を知ること
で、本学を客観的に見るができるよう
になり、今の仕事につながっていると実感
しています。

そして、大学院修了後、私はスイスのベ
ルン大学へ2年半ほど留学をしました。留
学を決めた理由は、小さい頃から留学をし
たいと思っていたことに加え、やはり“外
の世界が見たい、知りたい”という気持ち
があったからです。スイスは、国際競争力
が高く、世界経済フォーラム(WEF)の国
際競争力ランキングでは、7年連続1位に
選ばれている国です。そういった国の背景

もあり、常に自分を鍛え国際競争をして
いくのが当たり前という環境の中での留
学生活でした。日本とは違う考え方と異
なる環境では、楽なことばかりではあり
ませんでしたが、視野が広くなり、考え
方も柔軟になったと思っています。

このように私は、臨床研修期間を含め
ると7年以上、新潟を離れていたことにな
ります。その間、将来的には新潟生命
歯学部で働きたいと思い続けていまし
た。大学に貢献できることは何か、その
ために自分にとって必要なものは何かを
考えながら武者修行していました。この
期間のおかげで、今の新潟生命歯学部で
の生活は非常に充実しています。

私が皆さんに伝えたいことは、10年
後、20年後、自分がどんな歯科医師に
なっていたいのかを考え、自分の将来像
を思い描きながら学生生活を送ってほ
しいということです。それは、具体的で
あればあるほど役立つと思います。もち
ろん、好奇心や興味を持つことも大切で
すが、将来の目標やそのための目的が加
われば、自分の将来像に合った進路が選
びやすくなるでしょう。そして、選択し
た進路における充実度も高まると思いま
す。

神奈川県校友会新年会

平成28年2月6日(土)、横浜中華街「ローズホテル横浜」にて神奈川県日本歯科大学校友会の新年会に在校生として参加させていただきました。私は昨年に引き続き2回目の参加となりましたが、多くの在校生・臨床研修中の先生方も参加しており、普段お話しする機会のない方とも交流を持つことができました。また、昨年卒業された部活の先輩にも久しぶりにお会いすることができ、たくさんお話をすることもできました。

在学生や校友会の先生方との会話の他に和太鼓の演奏といった余興もあり、とても楽しい時間を過ごすことができました。先生方との会話も、勉強や歯科に関するものから出身高

校、好きなプロ野球球団など色々なお話をすることができ、とても貴重な経験をさせていただいたと思います。

総合試験の2週間前という忙しい時期ではありましたが、普段あまり交流を持つことのない同郷の先輩後輩や先生方と貴重な交流の機会を得ることができ、参加して本当によかったと思います。

これからも、このような機会があれば積極的に参加させていただきたいと思います。

生命歯学部2年
柴垣皓一



校友君インフォメーション

平成 28 年度 歯学会大会のご案内

「近未来、歯科はこう変わる? —10年後の歯科臨床を予測する!—」

開催日時:平成 28 年 6 月 4 日(土) 11:00~17:00(予定)
会場:日本歯科大学 生命歯学部 富士見ホール、1階ホール

参加費無料

詳しくは、校友会・歯学会HPをご参照ください。

新潟生命歯学部学生グループが 提言フォーラムにて最優秀賞を受賞

新潟市と大学連携新潟協議会が主催する「第2回キャンパスからの提言フォーラム」が、平成27年11月29日に新潟市役所内で開催され、参加した本学学生グループが最優秀賞を受賞しました。

●平成27年度 本学参加学生グループ

4年:押切 学、鈴木花子
3年:黒田直希、秦 史子(グループ代表)
2年:小出 耀、高木寛雅、吉田 祐

図書館からのお知らせ

生命歯学部

●開館時間変更

4月13日(水) 蔵書点検のため 17:00~20:00の開館
5月11日(水) 蔵書点検のため 17:00~20:00の開館
5月27日(金) 健康診断のため 17:00~20:00の開館
6月8日(水) 蔵書点検のため 17:00~20:00の開館
6月27日(月)~7月19日(火)の平日
試験のための開館時間延長 9:00~21:00

●開館情報

創立記念日 6月1日:休館
土曜日開館 6/25、7/2、7/9、7/16/開館時間:10:00~17:00

新潟生命歯学部

●開館時間

平日 9:00~20:00/土曜 10:00~17:00/日曜 休館日

*ただし、大学行事等により変更もありますので来館時は図書館ホームページでの確認をお願いします。

Facebook



Twitter



診療室での物語

カルテ No.11

認知症ということ



東京都品川区開業
石川立行
(72回)

Mさんは85才女性、10年くらい前にご主人を亡くされて今は1人暮らし、温厚で上品な方でした。上下局部床義歯の調整と歯周病のメンテナンスに3ヶ月に一度位いらしていただいていた。

今にして思えば、ここ1~2年、時間に遅れて来ることが多く、治療がままならないことが何度ありました。それともう1つ、お使いの義歯について、ここ2年くらい前から色々注文が細かく厳しくなっていました。

その義歯は新しく作ったものではなく、もう20年前初診の時から装着されていて、口腔内にすっかり馴染んでいるはずなのですが、下の義歯のクラスプが舌に当たるとか、食事の度に食渣が溜まって気になるとか、おっしゃるようになりました。急に敏感になったのかな?と思いながらも、“患者さんの要求をまずは真摯に受け止め応えるのが歯科医の勤め”、とレストの位置を変えクラスプを作り替えたり、リベースしたり、義歯そのものを新製したり、できうる限りのことをしていました。時間にルーズになり、あれやこれやと細かくなったとはいえ、毎回年齢相応に普通の会話ができていましたから。

ところが、義歯の調整に一週間を空けて来院された日のことでした。私『入れ歯の具合は如何ですか』Mさん『上の入れ歯にどうも物がはさまって気持ちが悪いんです』、口腔内を見ると、この2年間ずっと調整

を続けていた下の義歯は忘れたのか入っていません。『あれ、下の入れ歯はどうしました、お忘れですか』そして、この後のMさんの返事に一瞬凍り付いてしまったのです。『入れ歯は上だけで、下にはまだ作ったことないですよ』

『な、なに言ってるんですか! ずーっと調整して幾つも作り直したじゃないですか、先週だって食渣のはさまるところ治したでしょ』と言おうと思いましたが、そうか!! 認知症がここまで進んでいたのかと思い、ぐっと堪えてこう答えました。『あ、ああそうでしたね、でもやはり左でも咬めないかと困るでしょうか?』

きっと下顎義歯は失くしたのか、または自宅の何処かにあるのでしょうか。でも、本人が『ない』ではなく『作ったことがない』と断言しているのに『探して来て下さい』とも言えないし、こんな時は確か余り否定的な話は避けた方が良いでしょう。と

なると下顎の義歯のことは諦めるしかないということでしょうから、仕方なく気持ちを切り替えて新しく義歯を作り通常通り何回か調整をしました。

その後、一緒に住んでいない娘さんが付き添っていらして、Mさんはもう一年以上前から認知症の治療をしていることを伺いました。もし、もっと早期から正確に病状を把握していれば、対応も違っていたかもしれません。ただ、いつも一人であらうしゃる一人暮らしの方に『あなたは認知症ですか?』とは聞けませんし、対応はなかなか難しいものです。

そんな悩みに、うってつけの本が出版されました。昨年9月6日に本学が主催した緊急公開フォーラム「歯科と認知症 ~歯科医師の認知症対応力向上にむけて~」を書籍化したものです。歯科医師として、認知症の患者さんへいかに対応すべきかが具体的かつ実践的に書かれています。是非一読をおすすめいたします。

校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を 守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

